

JAPIC Pharma Report

海外医薬情報 速報

発信元：一般財団法人日本医薬情報センター
事業部門 医薬文献情報担当
〒150-0002 渋谷区渋谷 2-12-15 長井記念館 5F

No. 1289 2021年7月1日発行

安全性情報

Immunoglobulin および Argatroban による SARS-CoV-2 ワクチン誘発免疫性血栓性血小板減少症の治療：1症例の報告

SARS-CoV-2 vaccine-induced immune thrombotic thrombocytopenia treated with immunoglobulin and argatroban

Katharina Guetl (Medical University of Graz, Graz/Austria) , ほか
Lancet (10293) e19/ (2021. 6. 26)

Health Product InfoWatch (June 2021/8pp)

Drug and Vaccine Authorizations and Communications for COVID-19

・COVID-19 ワクチンと心筋炎および/または心膜炎の報告：COVID-19 ワクチンを接種した後の心筋炎および/または心膜炎の症例が、カナダおよび国際的に報告されている。これらの報告は稀であり、COVID-19 ワクチンとこれらのイベントとの関連性は不明である。国際的な報告によると、ほとんどの症例は COVID-19 mRNA ワクチン (Pfizer BioNTech および Moderna) が関係しており、2回目の接種後および男性の若年成人や青年における発生頻度が高く、軽度で治療が可能であった。2021年6月11日時点で、カナダでは53例の症例が報告されている。そのうち40例はPfizer BioNTech ワクチン、8例はModerna ワクチン、4例はCOVISHIELD/AstraZeneca ワクチンで報告されたことなどについて記載。

Monthly Recap of Health Product Safety Information : 2021年5月に医療専門家および消費者に対して行われた勧告や安全性レビューの概要。Opdivo (nivolumab) 単独または Yervoy と併用による自己免疫性溶血性貧血、再生不良性貧血、サイトカイン放出症候群、および腫瘍崩壊症候群、Pomalyst (pomalidomide) および Thalomid (thalidomide) による進行性多巣性白質脳症について記載。

New Health Product Safety Information

REVIEW ARTICLE

・ドパミン作動薬離脱症候群：Health Canada は、ドパミン作動薬（DA）の使用によるドパミン作動薬離脱症候群（DAWS）のリスク評価のため安全性レビューを完了し、ドパミン作動薬である pramipexole, quinagolide, ropinirole に関する因果関係を見出した。カナダで販売されているその他の DA については、関連性を確立するためのエビデンスが限られていた。そのため、この時点ではクラスエフェクトは確認できなかった。Health Canada は、製造業者と連携し、現時点のエビデンスのレベルに沿った表現でカナダ製品モノグラフを改訂する予定であることなどについて記載。

Product monograph updates

・Ofev (nintedanib)：ネフローゼ域の蛋白尿のリスクに関して、Ofev のカナダ製品モノグラフの警告および使用上の注意，副作用（市販後医薬品副作用），患者情報（Patient Medication Information）の section が改訂されたことなどについて記載。

編集部注：詳細情報は文献複写サービスをご利用になるか、医薬品情報データベースの iyakuSearch, PharmaCross などをご覧ください。尚、より速く情報をお伝えするため、一部電子ジャーナルを利用して採択を行っております。文献複写サービスは雑誌入手後となりますのでご了承ください。文献複写申込みは JAPIC 附属図書館／文献複写サービスよりお申込みください。
(<http://www.japic.or.jp/service/library/guidance.html>)